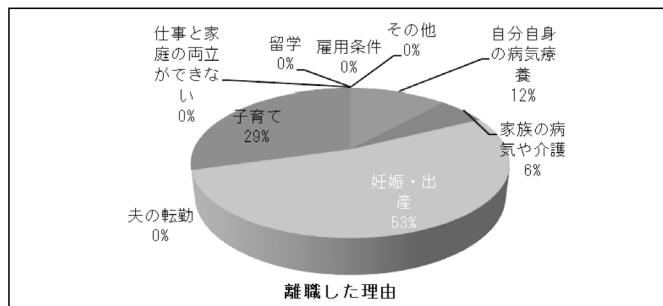
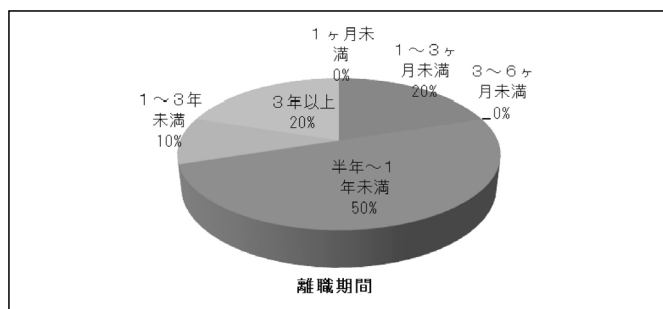
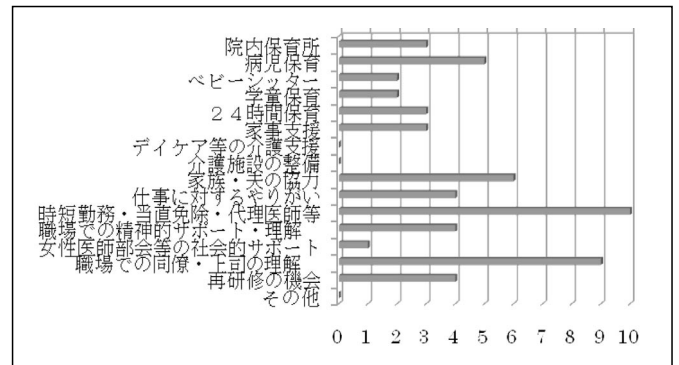


#### (4) 離職された方へのアンケート

◇離職については、妊娠や出産が主な理由であり、離職期間も50%が半年から1年未満であった。70%で復職予定があり、その内60%が非常勤を選ぶと答えている。



◇復職するには、「時短勤務・当直免除・代理医師」等の勤務条件の緩和が最も必要で、「職場での同僚・上司の理解」もほぼ同数であり、病児保育のニーズが高かった。



## 2. まとめ

女性医師が仕事を続けていくにはどうしたらいいのか…。その答えを求めて、常勤として仕事を継続している先生からのご意見を伺うことと、離職されている先生方がどうしたら職場復帰できるのか、その方法を模索するために女性医師の労働環境の現況についてアンケート調査を実施しました。女性医師が仕事を続けていく上での様々なハードルは個人差が大きいため、簡単に結論を出すことはできませんが、今回皆様からいただいた貴重なご意見をもとに、これからの医師の就労環境を改善する方向性を見いだせることと思います。尚、この結果は、9月に行われました女性医師部会主催の病院長等との懇談会で発表させていただきました。お集まりいただいた琉大附属病院、各県立病院、県内主要民間病院の院長、看護師長、事務長の方々の、女性医師の生の声に熱心に耳を傾けていただき、女性医師の勤務環境がさらに改善されていくものと思います。

最後になりますが、質問が多岐にわたり、お答えいただくのにかなりの時間を必要とされたのににもかかわらず、快くご回答くださった先生方をはじめ、本調査の主旨にご理解いただき、ご協力していただきました琉球大学医学部医学科同窓会および各関係者の方々に、この場をかりて厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。